



「シマレガンバレ」
北海道旭川東高等学校標語

旭川東高PTAだより

第15号

応援だより



発行日：平成30年10月30日
発行：北海道旭川東高等学校 PTA
編集：PTA 広報委員会



TonCafe前日準備

東高祭名物のひとつ、PTAの喫茶TonCafe。前日の7月6日に生活委員の方々によって開店準備が行われました。掃除や荷物の運搬から始まり、何もない殺風景な教室が手際よく飾り付けられ、お洒落なCafeに早変わり。東高祭の間、校内を歩き回った後の憩いの場となります。

第69回 東高祭

東高祭PTA喫茶 TonCafe



お勤めの牛肉コロッケ

これが日向夏 サッパリした甘みが最高!

7月7日、8日の二日間3階講義室で「TonCafe」が開かれました。今年の目玉は初めて販売したコロッケです。かぼちゃと国産牛肉の2種類を販売し、大好評でした。毎年恒例の校章の焼き印が入った名物「東とら」。一番人気は日向夏。柑橘系のさっぱりした味で程よい甘さが絶妙です。コーヒーとの相性ピッタリでした。生活委員会をはじめとするPTA役員の方々の笑顔に癒された空間でした。



クラス展示の審査

今年も東高祭の開催に合わせて恒例のクラス展示が開催されました。教職員とPTAから選ばれた審査員による採点をもとに順位が決定します。PTAからは上林会長・守屋3学年委員長・中村教養委員長の3名で行いました。

【上林】「各展示ともに、限られた条件の中であっても、ご来場の皆様をいかに楽しませ、記憶に残る展示をするために、様々な趣向を凝らしクラス一丸で体験型の企画を作り上げていることに驚かされました。」

【守屋】

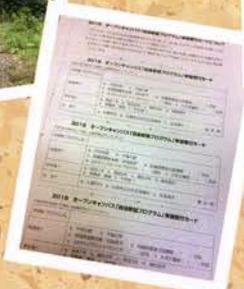
「東高生のパッションが感じられ、面白さではUSJを凌ぐ濃い一日でした。その中で展示1位の3年2組はさすがの一言。他3年3組のロジックな構成力、2年3組の細かな演出力、2年5組のエンタカ、1年3組の作りの良さが印象に残りました。」

【中村】

「アイデアと創意工夫がよく、現実では味わえない世界を体験できるレベルの高いものが多くありました。暑い教室の中で頑張っていた生徒さんにも感心しました。」



北海道大学



8月5日、北大理学部のオープンキャンパスに行ってきました。大学構内はそれぞれの学部で受付前から長蛇の列。参加者の意識の高さと北大の人気に納得。建物に入り参加受付カードを出し、たくさんのパンフレットが入った袋をもらって、さあ移動開始です。

理学部の自由参加プログラムは、学部紹介、公開講座、研究紹介、学生による模擬実験、相談コーナーがあり、自由に参加できる形となりました。公開講座を受けたあと案内係の先生がいくつかある食堂の中でオススメしてくれた、全国の大学で3番目に大きいという「北部食堂」でランチタイムも経験してきました。1000人以上が一度に食事をとれる広い建物の中は、午前の部を終えた参加者たちで大盛況!! 麺類、ごはん、丼、おかずなどのカウンターから好きなものを取り、飲み物やデザート類もスーパードリンクに陳列してあり一度でレジ精算が済むシステムで、メニューも豊富でした。人気があると「ヒレカツカレー」388円と「バイクチーズケーキ108円をいただき、久しぶりの学食に懐かしい学生生活を思い出しました。

最後に北大構内をめぐれば歩いて、クラーク像の前で記念写真を撮りました。初めてのオープンキャンパスに参加でしたが、大学パンフレットを見ているのと実際に現地に行ってみるのでは、違う印象を受けることが多くあることや、立地・雰囲気など大学生生活を模擬体験するのに、とても良い機会だと思えました。

親が

オープンキャンパスに行ってみた

北海道教育大学 旭川校



キャンパスツアー。学生の説明が楽しい♪



メニューいっぱいのお食。勿しー無料券ももらえました♪



いただいた資料の山! 全て受験に役立ちますが、中でも学生が作った冊子は、ゼミや部活動の紹介、近隣の住宅情報からバイトの状況、果ては受験勉強の仕方まで書かれていて、本当に参考になります。

7月21日、旭教大のオープンキャンパスに行ってきました。蒸し暑い中でしたが、朝からたくさんの人出。受験生一人で参加する人、友達と連れ立ってくる人、親と一緒に、そして親だけの参加も多く見られました。

全体説明会は一時間ほどで、大学の特色や就職状況などの説明がありました。旭教大からは昨年度は6日程が教員の道に進んだそうです。

全体説明会後は志望の専攻に分かれ、それぞれの専攻でどんなことに取り組んでいるか詳細を聞く事ができました。別室で個別相談会も行われており、大学でかかる費用の相談や学生寮の説明などを受けることができます。

旭教大の学生によるキャンパスツアーは効率よく校内を見て歩くのにぴったり。私たちのガイドをしてくれた学生は東高のOGでした。明るい笑顔で「大学はとても楽しいですよ」と語ってくれました。

学生による座談会も行われており、学生生活についての質問はもちろん、受験勉強のレクチャーなども受けることができます。高校生は年が近い分、大学主催の個別相談会よりも聞きやすいかもしれません。

帰宅して、いただいた資料を子どもに見せると、意外なほど真剣に読んでいました。一学生生活がどういった感じなのか参考になる。旭教大は志望校の候補に入らなかったけれど考えてみるかも」とのことでした。

お子さんが忙しく都合がつかない場合、親だけでも参加してみるといいかもしれません。

3学年保護者 受験座談会

2018.7.12



7月12日、暑い教室の中「3学年保護者受験座談会」が行われました。昨年までは「情報共有の夕べ」として全学年の保護者が対象でしたが、今年は3学年の保護者を対象に卒業生保護者17名をアドバイザーにむかえ、受験対策についての情報交換をしました。全体では学年委員会の挨拶から始まり、各アドバイザーの方々の自己

Q

志望校決定までどのくらい迷えるか

A 部活が終了した時点で模試の5割が解けていけば良いと思った。センターの成績で大学を決めようと思っていた。それに合わせて宿泊先も複数手配していた。

過去に親が受験スケジュールを埋め複数の大学を毎日受験した子が結局全滅したということがあった。かと思えば、偏差値が足りなかったも

Q

道外受験の際の日程や宿泊が不安です。

A 前日到着が不安であれば、前々日到着するように行く。旭川空港は就航率が99%で安心感が高い。

道外受験の場合は1日多く宿泊させた。中期・後期は日程が近いので道外の場合は旭川に戻らずホテルで一週間連泊させた。朝食はホテルでとれるがそれ以外がどうしていいかわからず食事面が大変だった。

受けなくなった場合はキャンセルをすればいいので、とにかく手配をしておくのが大切。都心のホテルは満室になりやすい。

Q

注意しておいて良かったこと、予防接種など

A インフルエンザの予防接種と、R1（乳酸菌飲料）を飲み、食事は栄養面に気をつけた。マスクをしていた。

道外に進学する場合は日本脳炎の予防接種もしておいたほうが良い。

Q

住宅の手配は？

A 受験予定の大学のそば全てをチェックし、早めに予約する。（予約解禁日がある。）

キャンセルができない場合や合格が決まらないうちで予約できない場合があるので注意する。

大きな大学は大学生協があるのだから、ホームページで確認すると良い。

Q

志望校に対して模試のランクは、ずっとEランクでも受かるのか？

A 息子の友人はずっとEランクだったが現役で入った。周囲に受けると言った手前頑張ったようだ。最後まで諦めないのが大事。Aランクでも落ちる子は落ちる。保険がついていなくてもいいので、あくまでもランクは目安。直前まで伸びる子は伸びる。

医学部ならではの
Eプランナーズ

【検体】

大学に入ってから、検体の解剖をする場面が出てくるので、どうしても臭いとか検体を切断するなどの行為もあることから、例えば家での食事にも肉系は避けたい方が良かななどの配慮も必要な場合があるし、これについては、どうしても向き不向きが出てきてしまうことなのでそこを割り切って考えられるのであれば問題はない。医学系を選ぶ時に考慮しなければならぬことだと思つた。

ちなみに大学2年生の時に半年くらいかけて検体の解剖がある。

【AO入試】

医学部特有だと思つたが、大学によってはAO入試の出願条件として、「特定地

紹介と一言をいただき、その後、進路志望先ごとに各教室に分かれ、受験に向けてのアドバイスや色々な体験談をQ&A形式で伺いました。

Q 受験生の親としてどう支えればいいのか？

A1 子どもたちは、切磋琢磨しながらとても考えている。あまり身構えせずいつも通り三食食べさせることや環境づくりくらいしかできなかった。同じように悩み頑張る仲間もいる。答えは自分で持っているの、話を黙って聞くだけでも良いと思う。子どもが自分で決めることも大

A2 おなかが一杯になると集中できない子や、受験の日も緊張して食べ物が喉を通らない子もいるので、おにぎりのような食べやすいもの（合間を見て食べることができる。）受験の日と同じようなメニューが多かった。胃にもたれない消化の良いものをお弁当に入れるようにした。

Q やっておいで良かったって

A 刺激を受けるためにオープンキャンパスには行ったほうが良い。

大学の学校祭を見に行つて、この大学に入りたいたいという気分を盛り上げた。

受験日に都会の子はできそうに見える気後れしないように受験先の塾や予備校に積極的に参加して都会の雰囲気を感じさせた。

の入りたいたい大学しか受けない勢いで、過去問を15年分やり尽くし、することがなくなるくらい集中したことで見事現役で合格した例もあった。あまりブレないで志望校をめざすことが大切だと感じる。

Q センター試験当日、また道外の試験

での食事、宿泊、トイレなど

A 前期試験当日周辺のコンビニのお弁当が売り切れていたと聞いていたので前日に（腐りにくく好きなもの）用意するように言った。

東京都内は朝の通勤ラッシュが大変なために大学近くのホテルでお弁当付き受験パックを予約した。

ホテルの予約時にデスクライトやCDプレイヤーを貸してくれるか確認した。

試験会場にトイレが少ない場合があり、女子は長蛇の列ができるので注意。

Q 大学の情報は親も取らなければなら

ないのか？

A 志望校は第一志望から第三志望くらいまでは出している。第一志望が難しければ第二志望を考えなければならぬが、必要になれば本人から言ってくると思う。

私立はネット出願になり紙がない。支払いはクレジットカード、コンビニ払いを選ぶ。そういう情報に関しては親も取っておいだほうが良い。

合格発表後にはキャンセルが出るのでそれを待つ方法もある。学生会館はセキュリティ的に安心、他の大学の学生とも知り合える。

Q 推薦について

A センターや一般受験のために勉強もして、始めは「チャンスが一回増える」というくらいの気持ちだったが、推薦で入学したいという気持ちは強くなった。

11月上旬に推薦の試験があるので、受けた場合は10月頭には申込みが必要。9月中旬に評定が決まり、一〜二週間後くらいには意思を決めなければならない。

受験内容は大学により異なる。指定校でなくても自己推薦という方法もある。

学校ですでにAOや指定校推薦を考えている生徒には面接の講習をした。ただし、指定校推薦は毎年違うので、生徒へは8月末に一齐に周知するが、国公立の指定校は全く私立に限られる。

大学で定める推薦ラインを超えた成績が必要。出願書類を揃えるのが大変。書類が整わなくて挫折する生徒も多い。

自分の思いをいかに文書や言葉にできるかが大切。（自分の思いを面接は言葉で表現し、小論文は文字で表現するもの）

地域の学校を卒業した人、大学卒業後は特定地域の医療に貢献したいと思う人、そして大学が指定する病院で卒後臨床研修を行うことが確約できる人などを加えているところもあった。大学によっても差があるようだが、実際指定外の病院で研修を行った時に、「ちよつと面談しようか」と声をかけられた人もいたようだ。



教員とPTAの懇親会



東高PTA活動のスタートです。5月16日学校での第一回各種委員会後、トーヨーホテルに移動して懇親会が行われました。校長先生をはじめ担当の先生方、委員の皆さまにご参加いただきました。全体会の後、各委員会ごとに分かれて、年間目標や活動計画などを話し合いました。

短い時間の中で、各委員会のカラーが打ち出された素敵な目標が決まり、大まかな活動計画が立てられました。

懇親会では、一堂に会して、美味しい料理をいただきながら歓談しました。緊張していた方がいたとしても、心がほぐれる楽しい時間だったのではないのでしょうか。

今年もパワフルかつ楽しい一年になりそうです。

定時制からの風

定時制の7・8月に行われた授業や行事の様子の一部を紹介します。

① 7月7日 東高祭

今年度も恒例の書道展示が行われ、うちわや絵手紙等、バラエティに富んだ作品が展示されました。また今年度は外で、輪投げとヨーヨー釣りの店を出し、地域の子どもたちにも楽しんでもらいました。



② 7月10日 進路講話 (第5回)

5月からスタートした進路講話。第4回の志望動機の手書き方に続き、履歴書の書き方について学びました。



③ 7月11日 炊事遠足

ぐずついた天候が続き、外での開催が危ぶまれましたが、当日は清々しい中で焼肉ができました。



④ 7月23日 生活体験発表校内選考表彰

9月14日の道北支部大会に向けた校内選考の結果、3年生の2名が選ばれました。



⑤ 8月21日 進路講話 (第6回)

最終回となる第6回は支援員のみなさんの波瀾万丈な体験談を聞きました。



⑥ 8月28日 交通安全講話

今回は特に自転車の危険性について講話いただき、最後に生徒会長の番さんが交通安全宣言をしました。



⑦ 8月30日 年金セミナー

年金の種類、納付を開始する年齢や免除申請等、近い将来、自分の身を守るための義務について学びました。



その他にもありました

● 7月17日 税金セミナー

● 7月20日 芸術鑑賞

このような様々な活動を通して高校生活が充実したものとなるよう取り組んでいます。

定時制の様子の詳細については、学校ホームページにも掲載していますので、ぜひアクセスしてご覧ください。

平成30年度 教職員紹介

※★印は学年主任・部長

氏名 クラス ①教科 ②分掌 ③部活動・同好会

全日制課程

校長 岡田 聡(数学)
教頭 須藤克志(数学)

1 学年

仲俣 薫

1年1組担任
①国語・書道
②教務
③書道

中山正幸

1年2組担任
①保健体育
②生徒指導
③陸上

膳亀奈美枝

1年3組担任
①地歴・公民
②保健
③文芸

蜂谷健吾

1年4組担任
①数学
②進路指導
③バレーボール

澤田大輝

1年5組担任
①英語
②教務
③山岳、その他

山根有希子

1年6組担任
①国語
②図書視聴覚
③卓球、文芸

宮野俊二

1年7組担任★
①数学
②進路指導
③卓球

村中典彰

1年1組副担任
①地歴・公民
②総務
③写真、囲碁

渡部真紀

1年2組副担任
①家庭
②教務
③茶華道、その他

加藤義則

1年3組副担任
①国語
②総務
③弁論

山下 元

1年4組副担任
①英語
②教務
③ラグビー、その他

高橋伸元

1年5組副担任
①理科
②進路指導
③ハンドボール

深山尚仙

1年6組副担任
①理科
②教務
③テニス

滝澤俊秀

1年7組副担任
①英語
②教務
③吹奏楽

小倉貴彰

1年学年付
①地歴・公民
②★生徒指導
③野球

高田 馨

1年学年付
①数学
②生徒指導
③クイズ研究

2 学年

鷓沼 尚

2年1組担任
①国語
②保健
③美術・工芸

石尾浩一

2年2組担任
①保健体育
②生徒指導
③サッカー

田熊俊治

2年3組担任★
①地歴・公民
②進路指導
③剣道

近藤 誠

2年4組担任
①数学
②総務
③バドミントン

原 徳之

2年5組担任
①英語
②教務
③剣道

阿部輝之

2年6組担任
①国語
②進路指導
③テニス

大屋泰宏

2年7組担任
①理科
②教務
③新聞、放送

國下浩己

2年1組副担任
①情報
②教務
③コンピューター研究、陸上

尾村晃治

2年2組副担任
①地歴・公民
②★教務
③バドミントン

森蘆 祐

2年3組副担任
①英語
②生徒指導
③ソフトテニス

高子和雄

2年4組副担任
①英語
②★総務
③将棋

石本 潤

2年5組副担任
①数学
②進路指導
③バスケットボール

伊與田浩紀

2年6組副担任
①理科
②総務
③ラグビー

野矢有希子

2年7組副担任
①保健体育
②生徒指導
③ソフトテニス

佐藤俊行

2年学年付
①数学
②図書視聴覚
③野球

大森善幸

2年学年付
①数学
②生徒指導
③クイズ研究

ジャクソン・メリッサ

A L T
2年学年付
③英語

3 学年

梁川 耕

3年1組担任
①英語
②図書視聴覚
③ダンス、漫画・アニメ

藤井亜希子

3年2組担任
①英語
②保健
③英語

柴田朝幸

3年3組担任
①国語
②教務
③バスケットボール

富田一茂

3年4組担任
①理科
②教務
③化学、天文

花尻健明

3年5組担任
①数学
②進路指導
③ハンドボール

小俣 太

3年6組担任
①理科
②生徒指導
③山岳

相田敬史

3年7組担任★
①地歴・公民
②進路指導
③山岳

森実三保子

3年1組副担任
①国語
②総務
③音楽

中川清文

3年2組副担任
①保健体育
②進路指導
③バレーボール

久末正樹

3年3組副担任
①数学
②生徒指導
③音楽

南 賢治

3年4組副担任
①英語
②総務
③応援団、野球

堀江昌昭

3年5組副担任
①理科
②進路指導
③放送

廣瀬純一

3年6組副担任
①数学
②生徒指導
③サッカー

千葉一彦

3年7組副担任
①音楽
②生徒指導
③吹奏楽

松井恵一

3年学年付
①地歴・公民
②★進路指導
③バレーボール、軽音楽

大村勲夫

3年学年付
①国語
②★図書視聴覚
③囲碁、写真

小林英樹

3年学年付
①理科
②★保健
③天文、化学

高松葉子

養護教諭
②保健
③軽音楽

宮澤紀久子

養護教諭
②保健
③漫画・アニメ

里 知十世

指導実習助手
②総務

定時制課程

教頭 小野寺典祥(英語)

山根志津

1年担任
①家庭
②生徒指導
③手話

村上恵美子

2年担任
①国語・書道
②生徒指導
③漫画・イラスト

岡田則之

3年担任
①地歴・公民
②教務
③バドミントン

近藤剛史

4年担任
①数学
②教務
③写真

東 和彰

1年副担任
①保健体育
②★教務
③バドミントン

太田倫夫

2・3年副担任
①地歴・商業・情報
②教務
③新聞

伴井善明

4年副担任
①理科
②生徒指導
③卓球

吉田登紀

養護教諭
②★生徒指導
③手話

事務

事務長 馬橋 郁
事務主任 後藤裕志
専門主任主事 助安由紀子
主任主事 杉山英敏
石田 央
黒田 隆

1 学年
2 学年
3 学年
定時制
事務室

高P連全国大会

大会テーマ 教養委員長 中村 哲也

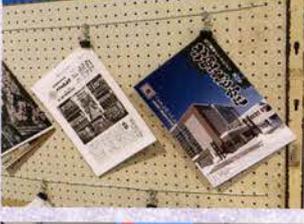
「広めよう 高めよう 慈しむ心」
君たちがつくる希望の明日を

8月20・21日に佐賀県で開催された第68回全国高等学校PTA連合会大会は、四市五会場において、延べ九千六百人の全国のPTA会員が集まり盛大に行われました。開閉会式や主な講演は主会場からの映像を中継し他の会場へ配信される形で大会は運営されていきました。東高校からは、岡田聡校長はじめ、田邊孔副会長と村井敦教監事と私の四名で参加させていただきました。

幕末維新时期を背景に政治・産業・科学・芸術の分野で先進的な活動をした佐賀の偉人、日本赤十字社の創始者である佐野常民伯爵の博愛精神にスポットを当ててテーマに掲げ、佐賀大会は、混迷の時代を生き抜く子どもたちが、学校・家庭・地域社会において慈しむ心を忘れず、私たちPTAがその支えとなり、希望の明日を創っていくための大いなる一歩を踏み出す構成となっていました。

全体大会の基調講演において、「レモンさんのピタミントーク〜慈しみの愛言葉！ Wear シンセキ〜」と題して、元PTA会長を歴任され、ラジオDJで活躍中のレモンさん（山本シュウさん）がレモンの被り物で登場し、その激ライブトークには圧倒されました。合言葉、Wear シンセキ！ その思いは、「あなたの命は、あなただけのものじゃない」ということ。遠慮なく、助けて〜！と叫んでいい。権利、それが人権。あなたは、あなたのまま、で、いい！以上に、あなたのまま、が、いい！と言える時代だということ。これからの流れの方向や、具体的に明日からできそうな行動、本当のコミュニケーションの形、捉え方など、大人も子どもも分かる形でレモンさんからたくさんのメッセージを送ってくれました。

その他、七分科会があり、アトラクションには吹奏楽部の演奏や芸人「はなわ」氏の感動する歌など盛りだくさんの内容でした。なお、会場にはこの「大空まどか」が数ある全国PTA広報誌の中から選ばれて展示されていました。日頃のPTA活動と広報が評価されたということで、名譽なごこと思いますが、改めまして、PTA会員の皆様のご理解とご協力に感謝を申し上げます。



高P連全道大会

会計 山岡 香純

6月16・17日の2日間、北海道高等学校PTA連合会大会十勝大会に参加させていただきました。今年の大会は「身近な人と結ぶ信頼の絆」がテーマで、全道より28校・千人以上の参加者で大いに盛り上がりました。

1日目は福島県相馬郡飯館村長菅野典雄氏による「お力ネの世界」から「いのちの世界」・「こころの世界」へ」と題する講演を聞かせていただきました。「自分の人生は自分でデザインして切り開いていく、人生に自動ドアはない」「成長だけでは社会は育たない、成育しなければ世界（国）は進まない」人は一生育つということ。また、心は見えないけれど、心づかいは見える。思えば見えないけれど、思いやりは見える。【相手の立場に立つて心をシェアしよう】など、心に響く講演でした。

2日目は帯広柏葉高校の会場にて「学校に足を運びたくなるPTA活動」の分科会に参加し、各学校の様々な取り組みを発表しあい、子どもと関わるPTA活動に一番必要なことは何かを意見交換しました。

改めて充実した環境の中で活動を行っていることにPTA会員の皆様に感謝しつつ、今回の研修で学んだことをこれからのPTA活動に活かしていきたいと思えます。



広報担当者の集い



6月28日に旭川商業高等学校にて「広報担当者の集い」が開催されました。

講演では北海道新聞社旭川支社報道部次長の青山宏之氏による「伝わる広報紙とは 新聞制作から考える」というテーマのもと、新聞・広報紙に共通する「心に残る紙面作り」をするための方法やポイントを教えてくださいました。特に印象に残ったお話は、見出しの付け方の例として、誰もが知っているキーワードを使うことで行われた事柄の正式名称をあえて見出しにつけず記事の内容を伝えるというものでした。

講演後、近郊の高校の広報担当者がグループに分かれて自校の広報紙の紹介や情報交換をしました。講演で教えていただいたことや情報交換で学んだことを活かして「心に残る広報紙作り」をしていきます。

次号予告 3月1日発行予定 お楽しみに！